

# 第8回 第6次焼津市総合計画策定市民会議プログラム

日時 平成28年12月11日(日) 13:00~16:00  
場所 焼津市役所本館6階603号室

## 全体会

### プログラム

1 開会・オリエンテーション (13:00~13:10)

- ・会議の目的共有
- ・会議の進め方



## グループ会議

1 考案した将来都市像の最終調整  
及び発表準備 (13:10~14:10)

(1) 最終調整

自分の班で考案した将来都市像の最終調整。

単語が適切か、他の人が見てもわかる言葉の意味  
つながりとなっているかを検証してください。

(2) 発表準備

発表する内容を検討する。

将来都市像にどのような意味・想いが込められて  
いますか。模造紙にまとめて、班で想いを共有し、  
発表に備えましょう。

ブラッシュアップ後の将来都市  
像について、審議会や庁内から  
の意見(別紙「将来都市像の市  
民会議案に対する意見」参照)  
を踏まえ、最終調整をしてくだ  
さい。

5分以内で発表できるように  
準備してください。

- ・発表者の決定
- ・発表内容の共有化
- ・模造紙の作成

(別紙「\_\_班で考案した将来  
都市像」を作成してもらいま  
す。)



## 全体会

1 発表及び共感度表記入 (14:10~15:00)

各班で考案した将来都市像について発表する。

発表後、共感度表を記入する。

(各班:発表5分+質疑応答2分+記入1分)

発表を聞いて、各班の想いを共  
有しましょう!  
発表と質疑応答の後に、共感度  
表(別紙「将来都市像共感度表」  
参照)の記入をしてください。

2 休憩(共感度表集計) (15:00~15:15)

共感度表を事務局へ提出した方は休憩をとってく  
ださい。事務局で集計を行います。

各班の想いを含んだ将来都市像  
をまとめ上げましょう!

3 結果発表及び調整 (15:15~15:55)

将来都市像の調整を行い、まとめあげます。

今日の感想や気づいた  
ことなどを意見カード  
でお聞かせください。



4 事務連絡・閉会 (15:55~16:00)

将来都市像共感度表

区分	共感度の視点	共感度					
		1班	2班	3班	4班	5班	6班
基本	1 誰でもわかりやすい表現となっているか(意味や文のつながりなどについて、中学生でもわかりますか)	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _
	2 市の計画(市民・事業者・行政が目指すまちづくりの指針)として適切な言葉になっているか	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _
	3 特定分野の将来都市像ではなく、まちづくりの全体像を示しているか	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _
特色	4 焼津らしさが伝わるものになっているか(歴史や文化などの地域特性や独自性があるか)	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _
	5 焼津市の現状や環境変化を踏まえたものになっているか(地域内外の両面性を配慮しているか)	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _
	6 インパクトについてはどうか(将来に夢や希望が持てるような表現か)	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _
	7 アピールポイントへの共感度	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _	5 4 3 2 1  _ _ _ _

(記入例) 当てはまる番号に○をつけてください。

(注意事項) ・自分の班以外の将来都市像について共感度を記入してください。

5 (4) 3 2 1  
|\_|\_|\_|\_|  
高い や や や 低い  
や や 普通 や や 低い  
高い 低い

共感度  
高い ← 低い

- ・すべての項目に○をつけてください。
- ・一つの項目につき、一つの当てはまる番号に○をつけてください。
- ・○以外はつけなくてください。

## 共感度集計結果(第8回市民会議(12/11))

### 共感度の高い将来都市像

1位	2位	3位
3班	5班	6班

### 各視点のうち、共感度の高いもの

1	誰でもわかりやすい表現となっているか(意味や文のつながりなどについて、中学生でもわかりますか)	1位	2位	3位
		4班	2班	6班
2	市の計画(市民・事業者・行政が目指すまちづくりの指針)として適切な言葉になっているか	1位	2位	3位
		3班	5班	6班
3	特定分野の将来都市像ではなく、まちづくりの全体像を示しているか	1位	2位	3位
		4班	5班	3班
4	焼津らしさが伝わるものになっているか(歴史や文化などの地域特性や独自性があるか)	1位	2位	3位
		3班	6班	5班
5	焼津市の現状や環境変化を踏まえたものになっているか(地域内外の両面性を配慮しているか)	1位	2位	3位
		3班	4班	5班
6	インパクトについてはどうか	1位	2位	3位
		3班	5班	6班
7	アピールポイントへの共感度	1位	2位	3位
		1班	6班	4班

### 市民会議で考案された将来都市像

1班	ほほえみ WAKUWAKU やいづ愛 ～豊漁と交流でにぎわう潮風のまち～
2班	幸せあふれる 潮風のまち こころの港 ～誰もがイキイキ主人公～
3班	やさしいら 愛しいら ずっと住みたいら ～世界に広がる豊かな水産・文化都市YAIZU～
4班	いいとこ いいもの いいひと「いっぱい」 ～海山川で織りなす文化 笑顔あふれる 活きなまち～
5班	はばたけ！駿河一の港町 豊かな風土と文化が結ぶ 笑顔の理想郷 ～やっぱり いいね やいづって～
6班	ずっとこのまちが好き 黒潮の幸を届ける活きがイイまち ～みんなが主役、優しさで支え合うふるさと～

将来都市像の市民会議案(12/11発表内容まとめ)

班	将来都市像	まちづくりの舞台にあげた登場人物とその理想的な状態	どう表現したか	なぜ	まちの軸とどのように発展させるか	どう表現したか	なぜ	まち全体のイメージをどう表現したか	なぜ	アピールポイント	どう表現したか	なぜ
1	ほほえみ WAKUWAKU やいづ愛 ～豊漁と交流でにぎわう潮風のまち～	すべての人がほほえんでいる	ほほえみ WAKUWAKU	住んでいる人、訪れる人、旅行者、在勤、在学、外国人、ふるさと納税をしてくれる人、迎え入れる人などが笑っている、焼津市に対して期待している、住んでいて楽しい。	産業全般を発展させたい	豊漁 交流	魚だけでなく、農産物、産業(物産)も含む。交流は、物・人・文化の交流。	潮風のまち にぎわい	海のあるイメージ・交流が盛ん	焼津市を好きという気持ち 焼津市に期待している・されている	やいづ愛	やいづ愛＝期待・好き やいづ愛が高まることで、住み続けたい人が増える、また来たい人が増える、まちを大きく育てたいという思いが増える。まちを大きく育てよう！
2	幸せあふれる 潮風のまち ころの港 ～誰もがイキイキ主人公～	住む人、訪れる人、働く人(企業含め) 明るい笑顔	幸せあふれるイキイキ主人公	心も産業も豊かと感じてもらえるから	ヒト・モノ・コトの交流	心の港	・焼津を出た人でも、故郷に帰ってくる懐かしさ ・訪れる人には「お帰りなさい」と感じる町にしたいから	潮風のまち	焼津の優しさが誰にでも伝わり、焼津にいて「楽しい、気持ちがいい…」と伝えられる町にしたいから	年の多い人、若い人、性別など問わず、皆が楽しい時間を過ごしてほしい。	誰もがイキイキ主人公	誰もが焼津に時間を大切にしたいから
3	やさしいら 愛しいら ずっと住みたいら ～世界に広がる豊かな水産・文化都市YAIZU～	・市民 ・すべてのもの 愛しく思える	・ずっと住みたい ・世界	みんながそう思えるように。	世界に広げる	水産・文化都市YAIZU	水産だけでなく、文化も。アルファベットは世界に向けて。	やさしい(人) 愛しい(海、自然、文化など)	守る、引き継ぐ	焼津らしさ、方言を使用	やさしいら 愛しいら	焼津らしさを表現するため。
4	いいとこ いいもの いいひと「いっぱい」 ～海山川で織りなす文化 笑顔あふれる 活きなまち～	自然、地場産品、名所、景観、食 全ての市民(老若男女、事業者)	いいとこ いいもの いいひと「いっぱい」	市内外、年齢にかかわらず、「やいづっていいな」とわかってもらいたいやすい。	自然、歴史、伝統産業、食、地場産品	海山川で織りなす文化	全てを絡み合わせて、相乗効果を狙う。	笑顔あふれる活きなまち	・笑顔:市民も来焼者も満たされた状態 ・活き:勢い、活気、住む人も来た人も元気になる。	様々な資源を絡み合わせて相乗効果を狙う。	海山川で織りなす文化	海、港だけでなく、地域資源の全てを含めることで発展する。
5	はばたけ！駿河一の港町 豊かな風土と文化が結ぶ 笑顔の理想郷 ～やっぱり いいね やいづって～	市民、来訪者	笑顔	人の優しさ	交流、経済物流	豊かな風土と文化が結ぶ	東西の文化と経済、物流、人のジャンクション 温暖な気候、住みやすい場所	駿河一の港町	魚のイメージ、地域性、焼津が駿河一、風光明媚	人が優しい、未来	やっぱりいいね やいづって	やっぱりいいなと思える場所 焼津を見直してもらう 再発見、子供でもわかる
6	ずっとこのまちが好き 黒潮の幸を届ける活きがイイまち ～みんなが主役、優しさで支え合うふさと～	全市民(子ども、障がい者、お年寄りみんな)	みんなが主役、優しさで支え合う	焼津市民の地域性や人柄である「優しさ」で支え合うことにより、全市民が主役になれるから。	魚のまち、港のまちとしての歴史をさらに伸ばす、人の幸せ	黒潮の幸	「黒潮」に海のまちのイメージを込めた。「幸」は産業の豊かさとな人の幸せをかけた。	活きがイイまち	「活気あふれる」「活き活きた」というイメージを黒潮の幸＝魚と結びつけた。	市民がずっと焼津に住みたいという気持ち	ずっとこのまちが好き	海の幸があり、防災等で安全に市民が支え合って暮らしている。

## 市民会議で考案された将来都市像案の共通性

市民会議で考案された将来都市像案は、そのどれもが「焼津市が持つ豊かな地域資源を活かして活力を生み出し、特色ある港町をつくり、誰もが笑顔でいられる都市」というような共通の方向性を持つものである。

共通の方向性を持つことをイメージしやすくするため、「基本となるもの」(3班)と「その他に考案されたもの」5つ(1、2班、4～6班)の単語の意味合いから、その共通性を分析した。「その他に考案されたもの」のうち、○で囲まれた単語が矢印の先の「基本となるもの」の単語と共通性があると考えられる。

(例) 1班の○で囲まれた「ほほえみ WAKUWAKU」が3班の「ずっと住みたいら」と共通性がある。

